



チャイルドシートは大人の責任です！

自動車は、座席ベルトを含め成人の体格と体力を基準にして設計されています。子どもを安全に乗せるために子どもの成長にあわせたチャイルドシートを選び、正しく取り付けましょう。

チャイルドシートをしていないとこんな危険が・・・！

・ シートベルトだけでは危険です！

衝突の瞬間、肩がベルトをすり抜けて車の天井に頭をぶついたり、ベルトが首に引っかかったりする危険があります。



★ シートベルトの適応身長は140cm以上です。

・ 車内事故の危険性が高くなります！

カーブを走行中や急ブレーキ時に座席から子どもが転落し、ケガをする車内事故が少なくありません。



・ 抱っこでは支えきれません！

時速40キロで車が衝突したとき、その車に乗っている子どもは体重の30倍もの力で投げ出される可能性があります。

《例えば》



10kg

× 30倍
の力 =



お相撲さん2人分

約 300 kg
の負担がかかる!!



Q & A



6歳になったら、チャイルドシートは卒業していいの？

6歳を過ぎてもシートベルトが正しい位置で使用できるのは身長が140cmを過ぎてからです。法律では6歳になればチャイルドシートは卒業ですが、身長が足りなければシートベルトを正しく使うことはできません。それまでの間、子どもの安全を確保するには、ジュニアシート(学童用シート)が必要です。

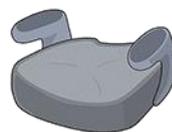


・ 背もたれ付き「学童用シート」



肩ベルトの位置が調節でき、子どもの首にシートベルトがかかることはありません。幼児用のチャイルドシートの後はこちらの学童用をお勧めします。

・ 背もたれなし「学童用シート」



座面が上がるので、シートベルトによる腹部への圧迫を防いでくれますが、体格によっては、肩ベルトが首にかからないよう注意が必要です。

※ 身長が100cmを超える頃、チャイルドシートの肩ベルトがきつくなったり、シートから頭がはみ出すようになったら交換時期です。

